

は～とふる活動報告 令和2年度

就労継続支援A型



就労 A.型では、特別養護老人ホームと障害棟の利用者さんたちの食事を提供しています。365日の稼働なので、シフト制のため安定した勤怠で出勤できることが働くうえでの大切な要件となります。そんな中、利用者の皆さんには体力もつき、働く意識も向上し業務の幅も増えてきています。お弁当、麺類も好評で、地域の方の注文も少しずつですが増えています。緊急事態宣言中はお弁当のみの販売となります。おまちしています

是非一度ご利用ください。

就労移行支援



就労移行支援、通称『さくらワーク』では、一般企業への就労を希望する障害を持った方に対して、就労に必要な知識や技能の向上のために必要な訓練、就労に関する相談や支援を行っています。

令和2年度は、9月から利用を開始した方が2月に一般企業での内定連絡を受け、4月からの就労が決定しました。今後も、一人でも多くの方が希望する仕事に就き、安定して就労が継続できるよう、一人一人のニーズに沿った丁寧な支援に努めます。

生活介護



生活介護事業は、昨年度は一部活動を中止せざるを得ない状況の中、健康に配慮した公園への散歩、室内での踏み台昇降やリズム運動、マット上の運動、レクリエーションではボッチャやペットボトルボウリング、的当てゲームなどの活動を行ってきました。また音楽クラブや造形講座など講師を招いた講座も実施しています。今後もご利用者様が楽しく安心して過ごせるよう心掛けてまいります。

相談



は～とふるの相談支援事業所では、身体・知的の障害のある方を対象に、障害福祉サービスを受ける時に必要な《サービス等利用計画》を作成しています。最近は児童の依頼も増え、障害児ケースも多く対応しています。今後もご本人及びご家族のご意向を伺いながら、安心してその方らしい生活が築いていけるよう努めていきたいと思います。よろしくお願いします。

就労継続支援B型



就労継続支援B型は、食品管理運営部門（喫茶運営・製パン・製菓）と手芸・清掃・園芸部門の作業を行なっております。令和2年度においては、市内各行事の中止などによる外部販売の縮小を余儀なくされましたが、その分新商品開発などに時間をかけ、利用者様とともに、より良い製品づくりを心掛け、実践してまいりました。今後も質の向上に向け、利用者様とともに研鑽してまいります。

障害者就労支援センター



就労支援センターは、東大和市の委託を受けて、障害をお持ちの方の就職活動と長く安定して働くように定着支援を行っています。現在213名が登録されています。令和2年度の就職者は、25名の就職に関わることができました。

コロナ渦の中で、例年行っていたボウリングや卓球の交流会、生活講座などの中止となったことは非常に残念でした。障害者雇用について興味をお持ちの方は、お気軽にご連絡ください。

お待ちしております。

自立訓練



昨年は新型コロナウィルスの影響もあり、レストランでの食事会など、外部での活動がほとんど行えませんでした。唯一、通所プログラムで緊急事態宣言明けに都立薬用植物園へ見学に行けたのみです。宿泊型自立訓練では毎季節の自然や行事にちなんだペーパークラフトや折紙などで共用スペースを飾り付けて、ハロウィン、クリスマスなどの行事や季節の移ろいを楽しんで過ごしています。

地域活動支援センター



令和2年度は、緊急事態宣言の発令で一部の講座の休止が続きましたが、講座の人数調整をし、消毒等感染防止に努め、地活の活動を継続しました。そのような中で、ヤクルト様『おなか元気教室』、NTTドコモハーティ様『視覚障害者向けスマホ教室』、キューピー様『食について』など興味深い講座を開催する事が出来ました。今後も、感染予防に配慮し、更なるプログラムの充実を図りたいと思っております。